

# 向こう3か月の天候の見通し

## 近畿地方 6月～8月

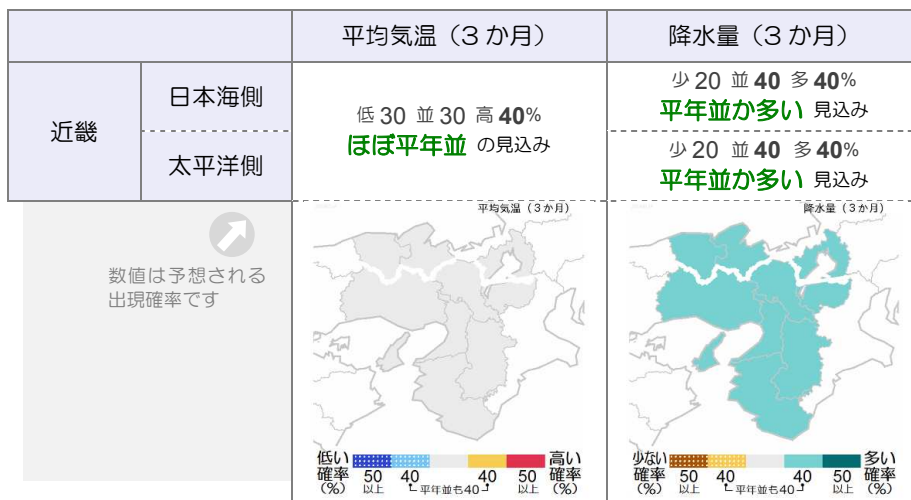
大阪管区气象台

### 予報のポイント

- 6月は、前線や湿った空気の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雨の日が少なく、降水量は平年並か少ない見込みです。
- 7月と8月は、太平洋高気圧の本州付近への張り出しが弱いため、7月は前線や湿った空気、8月は湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

このため、向こう3か月の降水量は平年並か多い見込みです。

### 3か月の平均気温・降水量


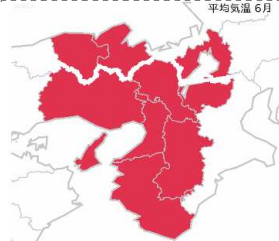








### 月別の天候

6月	7月	8月
前線や湿った空気の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込みです。	前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。	湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。  
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

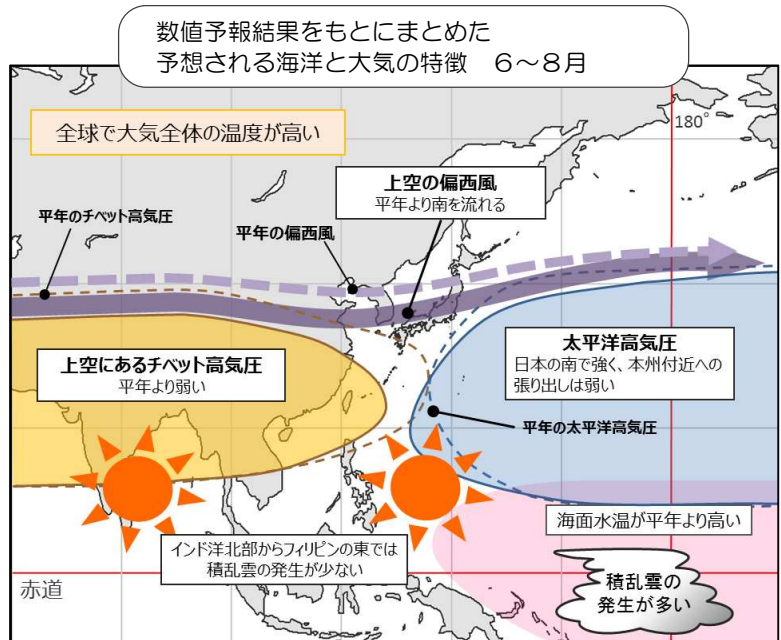
## 月別の平均気温・降水量

		平均気温 6月	平均気温 7月	平均気温 8月
近畿地方		低 20 並 30 高 50% <b>高い</b> 見込み	低 40 並 30 高 30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み	低 40 並 30 高 30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み
 数値は予想される 出現確率です				
		低い確率 (%) 50 40 以上 平年並も40% 高い確率 (%) 40 50 以上	低い確率 (%) 50 40 以上 平年並も40% 高い確率 (%) 40 50 以上	低い確率 (%) 50 40 以上 平年並も40% 高い確率 (%) 40 50 以上

		降水量 6月	降水量 7月	降水量 8月
近畿	日本海側	少 40 並 40 多 20% <b>平年並か少ない</b> 見込み	少 20 並 40 多 40% <b>平年並か多い</b> 見込み	少 20 並 40 多 40% <b>平年並か多い</b> 見込み
	太平洋側	少 40 並 40 多 20% <b>平年並か少ない</b> 見込み	少 20 並 40 多 40% <b>平年並か多い</b> 見込み	少 20 並 40 多 40% <b>平年並か多い</b> 見込み
 数値は予想される 出現確率です				
		少ない確率 (%) 50 40 以上 平年並も40% 多い確率 (%) 40 50 以上	少ない確率 (%) 50 40 以上 平年並も40% 多い確率 (%) 40 50 以上	少ない確率 (%) 50 40 以上 平年並も40% 多い確率 (%) 40 50 以上

## 予想される海洋と大気の特徴

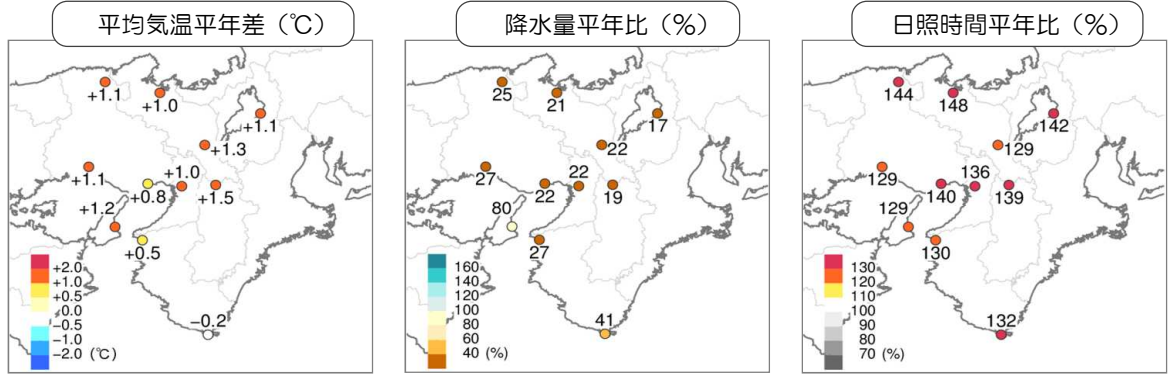
- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- エルニーニョ現象が続き、ニューギニアの東～太平洋東部では海面水温が平年より高く、積乱雲の発生が多い見込みです。一方、インド洋北部～フィリピンの東では、積乱雲の発生が少ないでしょう。
- 上空にあるチベット高気圧は弱く、偏西風は大陸から日本付近にかけて平年より南を流れる見込みです。
- 太平洋高気圧は、日本の南で強く、本州付近への張り出しは弱い見込みです。このため、北日本から西日本にかけては、太平洋高気圧の縁を回って湿った空気が流れ込みやすいでしょう。



今月の天候経過（実況） 5/1～20

天気は数日の周期で変わりましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。日本付近では低気圧の発達  
が弱く、湿った空気の流れ込みも弱かったため、降水量は平年を下回りましたが、20日は湿った空気の影響により  
太平洋側で大雨となった所がありました。

平均気温は平年を上回り、中旬は南から暖かい空気が入りやすかったため、平年に比べかなり高くなりました。  
日照時間は平年を上回り、上旬は平年に比べかなり多くなりました。



(実況) 5/1～20		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
近畿	日本海側	+0.9℃	21%	145%
	太平洋側		33%	133%

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 3か月	平均気温 6月	平均気温 7月	平均気温 8月
近畿地方	平年差：-0.1～+0.4℃	平年差：-0.3～+0.3℃	平年差：-0.3～+0.4℃	平年差：-0.3～+0.5℃
彦根	24.6～25.1℃	21.0～21.8℃	25.2～26.0℃	26.8～27.5℃
大阪	26.4～26.9℃	23.3～23.8℃	27.0～27.8℃	28.4～29.3℃

	降水量 3か月	降水量 6月	降水量 7月	降水量 8月
近畿日本海側	平年比：92～109%	平年比：86～107%	平年比：78～120%	平年比：69～123%
近畿太平洋側	平年比：91～105%	平年比：88～106%	平年比：76～108%	平年比：59～107%
彦根	433.1～604.2mm	147.1～220.0mm	130.1～287.2mm	73.6～123.0mm
大阪	366.8～473.2mm	134.3～204.2mm	119.1～166.2mm	48.3～104.2mm

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間（1981～2010年）の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い（多い）」  
「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータ  
のうち、値が高い（多い）方から11～20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおそ「平年並」の範囲としています。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	6月		7月		8月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
彦根	13.1日	11.8日	14.6日	12.3日	19.8日	7.5日
大阪	13.7日	11.2日	16.5日	9.9日	21.7日	6.9日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日  
に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い）	解説
高い（多い）確率が50%以上	高い（多い）見込み
(20 : 40 : 40)	平年並が高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並が低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み